

お客様への メッセージ

CONTENTS

長期投資仲間へのメッセージ vol.59

『投資信託のパラダイムシフトが始まる!』

セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓

ゲストからの応援メッセージ

『本当に大切なことは熱く語られる』

オフィスベネフィット代表

ファイナンシャル・プランナー 岩城みずほ氏

セミナー・イベント情報

・セミナーレポート(運用報告会in東京)

・未来へつづく資産形成を学ぶ(群馬・高崎)

セゾン投信からのお知らせ

・マイナビ連載コラム開始

・運用報告会メディア掲載情報

お客様データ

・口座数&年代別構成比

・今月の注目数値:「400億」

セゾン投信の素顔

メンバーが感じる日々の雑感



発行	セゾン投信株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第349号
加入協会	社団法人投資信託協会
お問合せ先	セゾン投信お客様窓口 電話03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く) http://www.saison-am.co.jp

■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のものとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.59

「投資信託のパラダイムシフトが始まる！」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

セゾン投信の現在

セゾン投信の2つのファンドは昨年12月12日に第5期決算を終え、皆様のお手元に第5期運用報告書が届いていることと思います。

昨年は世界の金融市場が欧州債務問題の顕在化から投資マネーのリスクオフ指向に翻弄され、株式市場から日米独の国債へと資金逃避が進み、同時に戦後最高値を突き抜ける超円高の進展という、とりわけ日本の投資家にとっては厳しい環境を強いられた1年で、残念ながら両ファンド共に皆様の期待に叶わぬ成果に甘んじることとなりました。

そうした厳しい逆風が続く環境の中でしたが、両ファンド共に皆様から実に安定した資金投入を続けていただき、先月末において59ヶ月連続資金流入超という、本格的長期投資ファンドを裏付けるキャッシュフローを堅持しております。

2007年3月に長距離列車「セゾン号」が出発以来、一貫して乗客数も増え続けており、現在約4万9千人のお客様に長期投資の旅をご一緒いただいております。

併せて、先月25日に「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」の純資産残高が400億円を達成、同時に両ファンド合計の残高も450億円を突破いたしました。

サブプライム危機、リーマンショック、そして欧州危機など嵐の只中でも、価値観と目標を皆様と共有し続けられた結果としての安定成長軌道がしっかりと定まってまいりました。改めて、心より感謝御礼申し上げます。

投信法改正へ

先月下旬、金融庁は金融審議会において、投資信託法改正の意向を表明しました。その主旨は、個人投資家保護を目的とした規制導入です。

そして規制の対象となるのは主に「毎月分配型」と「通貨選択型」と呼ばれる投資信託商品です。その理由は、利子収入や値上がり益などの運用益をはるかに超える高額配当競争が業界に蔓延し、高齢者などにその裏付けとなるリスクを認識させぬまま販売していることを抜本的に是正するためです。

日本の公募投資信託は現在約4000本あり、うち7割近くが毎月分配型ファンドです。その大多数が本来の期間運用益を超える分配金を出し、更に昨今は原資産リスクに高金利通貨を組み合わせた通貨選択型という仕組みにより、年率20%を超える極端な高分配をセールスポイントに、販売会社間の競争が激化していたことに対し、ようやく当局が欧米並みの制限を課すと腰を上げたわけです。

金融マンの矜持

現在我が国投資信託の純資産残高ベスト30を見てみると、30本中28本が毎月分配型、そして残り2本も隔月分配なので大差ない設計です。この事実から、日本の個人投資家がすべからず毎月配当を求めていることが裏付けられるわけですが、果たしてそれは真実なのでしょうか。決してそうとは思えません。

年金補完の役割としての高齢者ニーズであると既存業界側は説明しますが、欧米のどこを見渡してもこの仕組みが日本にはびこっている国はありません。まして通貨選択型の説明に至っては、海外の同業者でさえその合理性を理解してもらうことは困難で、日本の実情に驚嘆しています。

毎月一定の年金補完資金を投資家が求めるならば、それは残高の一定比率を解約して行くのが最も

合理的であるはずで、顧客ニーズを満たすというのなら、そうした仕組みのサービスを付加すれば充分です。

日本の預金はゼロ金利、10年国債でさえ1%を割り込んでいる低金利時代にあつて、毎月確実に年利で10%・20%の分配が得られると素直に納得してしまう投資家側の姿勢にも大いなる問題がありますが、そうした目先の欲望につけこんで誤認を誘導するが如き、既存金融業界の社会的道義性の欠如は決して看過できぬとの当局の意図は、至極当然のことでありましょう。

それは金融とりわけ資産運用の世界では、個人との情報格差が極度に大きく（情報非対称性）、それがゆえに正直で誠実であることが金融に携わる者としての矜持であるべきで、すべからず厳格にそれを課せられるべきであると思うからです。

チョコハンの存在意義

既存金融業界は投資信託を手数料獲得の道具としか捉えていなかった、その悪弊を正すことで、長い目で見れば投資信託の信頼回復につながると金融庁は判断しているようです。

片やセゾン投信はじめチョコハンファンドは、設定当初から本来あるべき投資信託を目指して、販売会社の論理と一線を画し、ひたすら長期投資を標榜し続けています。

生活者ひとりひとりの小さなお金が同じ目標と価値観で一緒になって、実体経済の金融の役割を果たして行く。経済の血液として働いたお金は、経済成長の恩恵を受けてじっくりと育っていく。これが長期投資であり、ゆえに長期投資に分配は無用です。経済の中で働くお金がどんどん増えていくことが大切だからです。

ひとりひとりが投じたお金を通じて経済活動に参加する！これが本来の投資であり、それを等しく実現させて行くのが本来の投資信託の役割であるにちがひありません！

（2012年2月1日記）

ゲストからの応援メッセージ

「本当に大切なことは熱く語られる」

オフィスベネフィット代表 ファイナンシャル・プランナー
岩城みずほ氏



セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド 純資産総額400億円突破、おめでとうございます！ちょうど、セゾン投信さんの第5期運用報告会に出席しているとき、この嬉しいニュースは飛び込んでまいりました。コツコツと積立投資をする長期投資家に支えられて、ここまで大きく育ってきたのだなあと、喜びを共有させていただきました。ありがとうございます！

申し遅れましたが、私は、独立系FPをしております岩城みずほと申します。独立系というのは、金融機関に属していないということです。つまりモノを売りません。世の中には独立系といいながらコミッションを得ている方も大勢いますが、私は真に中立な立場です。なぜ、このように声を大にして言うかと申しますと、まだまだ「売り手と買い手の情報格差」を感じるからです。セゾン投信さんの長期投資仲間の方々のように、ちゃんとわかっていらっしゃるのはまだとても少ないように感じます。

この不透明な時代に、誰もが心の中で、「このままで大丈夫なの？ なにかしなくては」と思っています。そこに、「おススメですよ」というささやきはひどく甘美に聞こえます。その気持ち、よくわかります。なぜなら、私も数年前までマネーリテラシーを持たない普通の生活者だったからです。

当時、勤めていた会社で、私は、某大手銀行と某大手生命保険会社のコールセンターの人材教育プログラム構築の仕事をしていました。そこで、「売り手と買い手の情報格差」を痛感しました。「金融機関が教えないこと」もあるし、「売り手である営業パーソンも正しく理解していないこと」もあります。さらに買い手である私たち生活者があまりに無防備、情報を持たなすぎていると思いました。それをどうにかしたいと、無謀にも(?)考えたわけです。それから、様々なセミナーに行き、勉強を続けました。

中野社長のお話を初めて聞いたのは、2009年です。中野さんは、「本来あるべき投資」について熱く語られました。

「投資は、100あるものから取り合う世界ではない。自分のお金を経済に働きにだすことで、経済自体を育てていく。自分だけ儲けて、自分だけよければという発想の間違いはと気づいて、世の中のためできることを考えよう。そう思えば投資は気持ちよくできる。これが資本主義社会の王道。投資をする人がいなければ資本主義は成り立たない。成長発展はない。金融といういい方をしてもいい。なのに、金融機関は本来の仕事をしていない!!」

中野さんのお話は、大変わかりやすく、目からウロコでした。それから3回、中野さんのセミナーに行き、この人は信用できる、間違いない!と思い、セゾン号に同乗させて頂きました。

今、私は、「ほけんぺでいあ」(web)を通し、情報発信をしています。TOPの方にインタビューさせて頂いたり、また2ヶ月に1度、お招きして、誰でも参加できる勉強会を開催しています。中野さんにも大変有意義なお話をしていただきました。「ほけんぺでいあ」の『わたしの資産形成ABC』2011.5/6~6/3掲載、ぜひお読み下さい!)

みなさまのご協力のおかげで、大変楽しく、多くの学びを頂けるありがたい活動です。ささやかではありますが、私のできる、「インターネットボランティア(社会貢献活動)」です。「情報格差」が少しでも小さくなりますように。

先行き不透明な時代、誰にとっても運用は必須です。今、アクションを起こさなければ、私たちは将来、確実に困ったことになります。いつも中野さんが力説されているように、私たちがすべきは「本物の投資」です。世界経済の中に、経済成長の糧としてお金を働かに出しましょう!成長した経済からリターンという形で成長の果実を頂きましょう!

中野さんの熱いメッセージが、さらにたくさんの方に届けばいいなあと思います。これからも世の中のためにがんばってください!

最後に、運用報告会で久しぶりに中野さん節を聞いて、感動しました。これからも応援しています!

【執筆者プロフィール】

岩城みずほ(いわき みずほ) オフィスベネフィット代表 ファイナンシャル・プランナー
愛媛出身。慶應義塾大学卒。NHK松山放送局を経て、フリーアナウンサーとして14年活動。報道番組、パブリシティ番組、選挙特番などの他、BS、ラジオ、各種司会、リポーターを務める。その後、セミナー講師に。大手銀行、保険会社などのコミュニケーション研修のためにFP資格を取得したが、その面白さにFPになることを決意!2009年独立。現在に至る。得意分野は、保険と資産運用。コンサルティング、セミナー講師、執筆、司会などを行っている。

日本FP協会会員。WAFP会員。日本商工会議所企業年金総合プランナー。

著書『30年後も安心して暮らせる!お金の鉄則』(マガジンハウス出版)

オフィスベネフィット <http://www.officebenefit.com/>

マネー女史の資産運用研究所 WEB事典「ほけんぺでいあ」主宰 <http://www.hokenpedia.com/>

サムライズプロジェクトジャパン主催 <http://somerise.net/>

セミナー・イベント情報

【セミナーレポート】 2012/1/28(土) セゾン投信第5期運用報告会(東京)



1月28日(土)午後、セゾン投信第5期運用報告会を東京渋谷で開催いたしました。

冒頭、社長中野からセゾン・バンガード・グローバルバランスファンド純資産総額が400億を突破した報告をさせていただき、その後、5年目を迎えるにあたり、今後の投信業界の環境変化とセゾン投信の営業展開についてお話ししました。

次に運用部ポートフォリオマネージャー瀬下より2本のファンドの運用状況と、長期投資におけるリスクの考え方についてじっくり時間をとって説明をいたしました。

最後は、セゾン投信を設立時より支えてくださっている、ファンドコンサルティングパートナーズの房前督明氏より、2つのファンドについて設定来からの当社の特徴的な運用状況と最近の投資環境についてわかりやすくお話ししました。

質疑応答では十分なお時間がとれず残念ながら時間切れになってしまい、質問にお応えできなかった皆様、申し訳ございませんでした。運用報告会は、今後も以下の予定で開催いたしますのでぜひご参加ください。

お客様のアンケートより

- ・リスクの考え方は難しかったが、投資判断をする上で重要なことをレクチャーしてもらった。(30代男性)
- ・リスク分散をしつつ資産を増やしていることがわかった。今後の展望に期待が出来ると感じました。(50代男性)
- ・結局、個人の資産づくりとしてバランスファンドが解の1つであるという考えには共感しています。
長期資金流入が重要な柱だと思うので、この先も頑張ってください。私も続けます。(20代男性)
- ・第三者の立場から解説いただけるのは、わかりやすいし良いと思います。(40代女性)

運用報告会 開催日	時間(開場時間)	場所	会場
2012年1月28日(土)	14:00~16:30(13:30)	東京	T's 渋谷 渋谷 501
2012年2月5日(日)	13:30~16:00(13:15)	福岡	福岡朝日ビル B1F 12号室
2012年2月12日(日)	13:30~16:00(13:15)	仙台	ハーネル仙台 5F けやき
2012年2月18日(土)	14:00~16:30(13:30)	大阪	野村コンファレンスプラザ 大阪御堂筋 B1F K会議室
2012年2月19日(日)	13:30~16:00(13:15)	名古屋	名古屋 1F 1107
2012年2月25日(土)	13:30~16:00(13:15)	広島	ワークピア広島 B1F 瀬戸
2012年3月3日(土)	13:30~16:00(13:15)	札幌	北海道建設会館 9F 中会議室

《講師》

山本 和史氏 (日本コムジェスト 代表取締役社長)※仙台、広島、札幌に参加

房前 督明氏 (ファンドコンサルティングパートナーズ 代表)

中野 晴啓 (セゾン投信 社長)

瀬下 哲雄 (セゾン投信 運用部ポートフォリオマネージャー)※東京、大阪、名古屋に参加

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:投資未経験者 ★★:初級 ★★★:中級>

【群馬】高崎		未来へつづく資産形成を学ぶ		
★	2月11日(土・祝) 14:00~16:30	ヤマダ電機 LABI1高崎4階 LABI GATE	参加費 無料	澤上 篤人氏(さわかみ投信 代表取締役会長) 中野 晴啓 コーディネーター 仲木 威雄氏(さわかみ投信 取締役副社長)
「長期投資のカリスマ」さわかみ投信澤上会長と弊社社長中野の強力タッグで、これからの日本経済や社会を不安に思うあなたに『将来のため、じぶん磨きのお金づくり』、誰に出来る資産形成の秘訣をご案内します。会場はJR高崎駅前、好立地の大型商業施設、ヤマダ電機LABI1高崎内です。高崎にお出かけ、お買いものの途中、是非お気軽にご参加ください。				
【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～		
★	2月16日(木) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60 54F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
毎回、人気のセミナーです。申し込みはお早めに！投資をはじめる前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。少人数でアットホームなセミナーですから、日頃なかなか聞けない基本的なことでも結構です。皆様からの質問にしっかりお応えいたします。				
【東京】丸の内		草食投資隊セミナー『草快塾』第六回 時代潮流の変化 ～草食投資隊が目指すところは何か～		
★	3月13日(火) 19:00~20:45	レオス・キャピタルワークス セミナールーム	参加費 無料	渋谷 健氏(コモンズ投信会長) 藤野 英人氏 (レオス・キャピタルワークス取締役 CIO) 中野 晴啓
今期最後となるこの会は、「時代潮流の変化」～草食投資隊が目指すところは何か～をテーマに開催します！この1年間、みなさまと共に考えたテーマについておさらいをしながら、総括となる会にしたいと考えております。				

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝 年末年始を除く)



講師として参加のセミナー

【広島】		これからの生き方とじぶん年金づくり		
	2月24日(金) 19:00~21:00	広島市まちづくり市民 交流プラザ 会議室B	参加費 500円	中野 晴啓(セゾン投信社長)
長期で始める国際分散投資について、また世界経済で今何が起きているか、最近の国内外の経済情勢についてもわかりやすくお話をいたします。投信初心者の方の普段聞けない基本的な質問も大歓迎！				
【名古屋】		人生に役立つお金の話		
	2月26日(日) 15:00~18:00	安保ホール 501AB	参加費 3,500円	田口 智隆氏 (ファイナンシャルインディペンデンス代表取締役) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
学問の中には「経済学」でも「経営学」でもない「お金の勉強」が存在します。日本の学校じゃ教えてくれない本当に意味のある皆さんが学びたかった「お金の勉強」をしてみませんか？				

※主催者の都合により、開催の延期や見送りを行う場合がございますので、予めご了承ください。

セゾン投信からのお知らせ

★マイナビ連載コラム★

「お金」に興味を持つという事 - セゾン投信・中野社長の半生記

<http://news.mynavi.jp/column/nakano/001/index.html> <毎月第2、第4火曜日掲載予定>

社長中野がセゾン投信を立ち上げるに至るまで、どのようにして「お金」や「投資」にかかわり、どのようにして「投資」を行う会社を立ち上げるようになったか。また、「お金」や「投資」に積極的に関わることの大切さを、投資やお金に興味のない人に対して啓蒙していくコラムです。

～第1回コラムより抜粋～

私は1987年に社会に出て以来、ずっと運用畑の仕事に従事して来ました。いわゆる機関投資家の資金を運用してきましたが、ある時から運用する側の理想の姿と現実のギャップを認識するに至りました。それは機関投資家つまりプロの世界が、リターン(利益)という縦軸偏重になり、時間という横軸を考慮しなくなったということです。(中略) 相場の上げ下げで利ザヤを積み上げていく機関投資家マネーの短期化した運用の世界に大いなる疑問を感じ、決算とは無関係で将来の経済的自立を目的とした、日本の生活者の財産作りのお手伝いとしての運用を実現する為、セゾン投信という会社を作り、2007年3月に投資信託の運用を始めました。

【運用報告会 メディア掲載情報】

全国各地で開催されているお客様向け運用報告会に先立ち、マスコミ向け行われた運用報告会の内容が下記メディアに掲載されています。

★サーチナ:残高450億円突破。2014年度1500億円めざす

http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2012&d=0126&f=business_0126_099.shtml

★ロイター:14年度に10万口座・純資産残高1500億円目指す

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPTK071411020120125>

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2012年2月3日～4月末日)

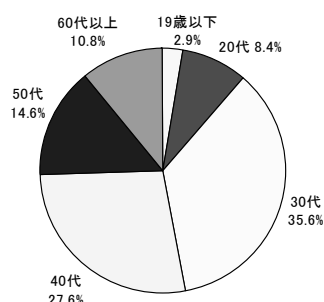
下記は2012年2月3日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	2月20日(月)、3月19日(月)、4月6日(金)、4月9日(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	2月20日(月)、3月19日(月)、4月6日(金)、4月9日(月)

上記は信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

お客さまデータ

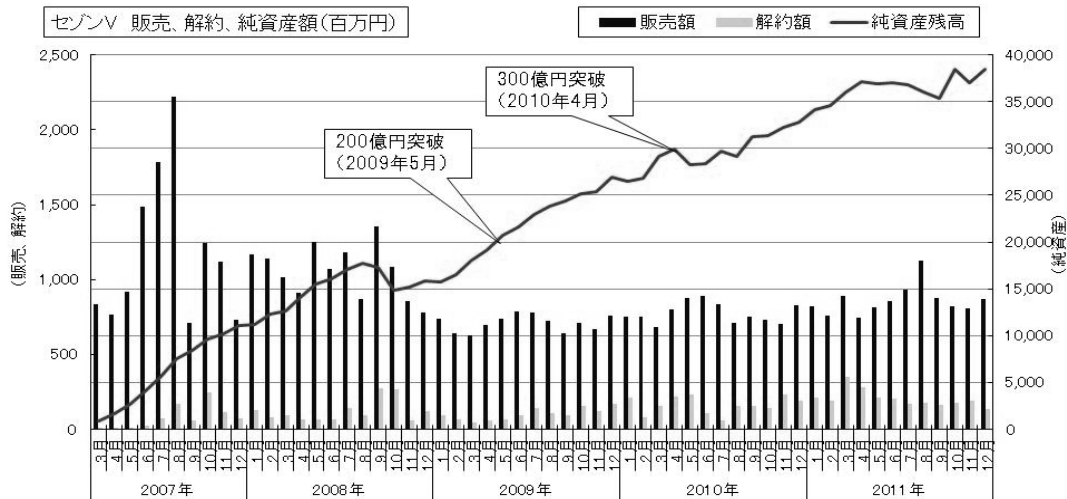
セゾン投信 会員数48,958口座
(2012年1月31日現在)



※2011年12月末現在

今月の注目数字！ 『400 億』

2012年1月25日、セゾン・バンガード・グローバル・バランスファンドの純資産総額が400億円を突破致しました。運用開始から59カ月連続で資金流入を続けており、多少の凹凸はあるものの総じて右肩上がりです。資産が増加しています。(下記図折れ線グラフ)。



セゾン投信の素顔

「センバツ」

選抜高校野球の出場校が決定し、被災地の東北地区から4校が出場することとなりました。同地区4校というのは最多タイらしいですね。去年の夏の東北高校にも感動しましたが、彼らにも澁刺としたプレーを期待しています。

去年の夏は私の母校も久しぶりに甲子園に出場することができ、私も応援に行く気まんまんでしたが、不運にも出張と重なり、羽田空港のテレビで飛行機を待ちながらの観戦でした。その時に私の前の席に座っていた親子連れがどうやら私の母校を応援してくれているような雰囲気だったので、思わず声をかけそうになったのが忘れられません。

最近は高校野球の人気にも陰りが見えてきているようで、私の娘も自分の学校の試合があってもほとんど応援に行きませんでした。こんなに面白いものを観に行かないのは非常にもったいない気がしました。互いの集中力のぶつかり合いが生み出す予測できないドラマは、勝ったにせよ負けたにせよ、観る人にも大きな感動を与えてくれます。今年も楽しみにしています。

「一年の最初に読む本」

正月休みに「書き初め」ならぬ「読み初め」をします。

毎回、「さて何を読もうか」と悩んでしまいますが、一年の節目に気分一新して、第一歩を気持ち良く踏み出す読書です。あまり堅苦しい本やシリアスなものは遠慮して、読後に鮮やかな印象が残るのが私のお気に入りです。

今回は、そういう一冊、『世界でいちばん美しい物語』※という本をご紹介します。いささか大げさなタイトルですが、内容はフランスのジャーナリストによる宇宙物理学、分子生命学、古生物学の科学者へのインタビュー(宇宙創成、生命の誕生、人類の誕生について)をまとめた地味なものです。でもこのインタビューが秀逸。よく考えられた質問と科学的解説の相乗効果で、読者は、宇宙の誕生から現在の我々に至る150億年の偶然の歴史がひとつの必然の物語として語られる、という世界観の体験ができます。面白い話も多く、例えば、夜空の闇が宇宙進化の証拠でもあること、生物の世界に白一色や黒一色はなく鮮やかな色彩が不可欠なこと、人類のはるかな先祖は花と一緒に登場したこと、などが科学的根拠と推論に基づいて説明されます。読むたびに自分の感性や世界の見方をリフレッシュできる一冊です。

※ユベール・リーヴズ、ジョエル・ド・ロネー、イヴ・コンパス、ドミニク・シモネ著、木村恵一訳筑摩書房刊(1998年)